



JAPANESE JOURNAL OF MATHEMATICS

JJMは2005年の存続の危機を乗り越え、継続して出版されることになりました。
2006年より3rd Seriesを創刊、最高レベルのサーベイを出版する国際学術誌として
生まれ変わりました。

伊藤清先生ガウス賞記念寄稿、高木レクチャー講演記録なども掲載されています。
2009年にはコンツェビッチ他、IHES教授陣の寄稿を掲載予定です。

New Editors

- 小野 薫 (北海道大学)
河東泰之 (東京大学)
小林俊行 (東京大学)
斎藤 毅 (東京大学)
中島 啓 (京都大学数理解析研究所)

Volume 3 · 2008

- P. Malliavin** : 無限次元の群の不変および準不変な確率測度
牧野淳一郎 : 手作り計算天文学
A. A. Davydov, 石川剛郎, 泉屋周一, W. -Z. Sun :
平面1階陰微分方程式系のジェネリックな特異点
D. Lenz, N. Peyerimhoff, O. Post, I. Veselić :
多様体の状態分布関数の連続性
D-V. Voiculescu : 自由解析の様相
O. Viro : ヒルベルト16問題からトロピカル幾何学へ
C. F. Dunkl : 解析学における鏡映群とその応用
M. Pevzner : 群作用のある量子化 : スペクトル解析 vs 変形理論

Volume 2 · 2007

- V. Turaev** : “語のトポロジー” 講義
P. Malliavin, M. E. Mancino, M. C. Recchioni :
HJM幾何構造のノンパラメトリックなキャリブレーション :
伊藤解析の統計的ファイナンスへの応用
J. Pitman, M. Yor : 周遊軌道に関する伊藤理論とその応用
P. Salminen, P. Vallois, M. Yor :
一次元拡散過程のエクスカーション理論について
D. W. Stroock : 確率分布の空間上の伊藤の幾何構造
M. Yor : 伊藤による確率過程論の革新
S. Bloch : グラフにともなうモチーフ
F. Cucker, S. Smale : 「創発」の数学
J. -M. Lasry, P. -L. Lions : 平均場ゲーム
C. Voisin : ホッジ予想について
E. B. Vinberg : 数論に関するアーノルドの予想について
B. Krötz : 王冠領域の角を見る
三宅克哉 : 日本の現代数学の父、高木貞治について
小林俊行/小島定吉 : 高木レクチャーの創設について

Volume 1 · 2006

- V. I. Arnold** : フェルマー・オイラー合同式の行列版について
彌永昌吉 : クロード・シュヴァレーの類体論に関する業績
S. Gindikin : 対称スタイン領域上の調和解析-複素解析の観点から
L. Illusie : l 進コホモロジーのトレース雑録 : サーベイ
A. De Sole, V. G. Kac : 有限W代数 vs アファインW代数
B. Roynette, P. Vallois, M. Yor :
ウィナー測度に対するペナルティ法
K. -H. Neeb : 局所凸位相群のリー理論に向けて
小島定吉/森田康夫 : JJM 3rd Series 創刊について



図書委員の先生方へ：
新規購読をおすすめします。

【連絡先】

〒110-0016
東京都台東区台東1-34-8
社団法人 日本数学会
Fax : 03-3835-3485
年2回発行

{ ISSN: 0289-2316 (冊子版)
ISSN: 1861-3624 (電子版)
年間購読料 ¥25,000 + 税 / EUR198.00
会員割引 ¥7500+税/冊子 もあります。